

挑む!

アドベンチャーランナー

北田 雄夫たかおさん(33)

絶景と達成感 7大陸走り抜け

砂漠などの大自然を数日間かけて走破する「アドベンチャーマラソン」で、7大陸のレースを走破した。

中学で陸上を始め、近畿大3年の時、日本選手権1600リレーでは3位入賞を果たす。就職していったん

陸上から離れたが、2008年のホノルルマラソンに参加し、再び陸上魂に火が付いた。トライアスロンに挑戦したり、キリマンジャロに登ったり。そんな時、アドベンチャーマラソンに出会った。「人がやらないことをやってみ



堺市出身・在住。化学メーカー勤務などを経て、近畿大陸上部OBが経営する貿易会社で働きながら練習を重ねている。

たい

14年6月に中国・ゴビ砂漠を2500km走るレースに出場。地平線に向かって走り続けるようだった。「なんで出たんやろ」「コーラ飲みたい」。自問自答しながら足を動かした。それでも、ふとした瞬間に見える絶景と、ゴールの達成感に病みつきになった。

チリ・アタカマ砂漠のレースは気温45度。スウェーデンでは零下20度の中で雪をかき分けた。足の皮がむけ、痛み止めを飲みながら走ったことも。昨年11月にアフリカでのレースを3位で完走し、7大陸を制覇。「やったという気持ちとともに寂しさもあった」

次は今夏、ピレネー山脈の866km[※]を走るレースをめざす。

「できないかもしれないということほど、やりたくなる。挑戦し続け、突き抜きたい」

文・写真 大隈崇

記者から

純粋に挑戦を楽しんでいる姿は、周りの人まで前向きにしそう。新年、何かに挑みたくなった。